

都道府県別「頼れる病院」ランキング&役立つ健康・医療情報

DIAMOND WEEKLY

http://dw.diamond.ne.jp/

2014 5/24

週刊

ダイヤモンド

平成26年5月24日発行

定価980円

先端医療・自由診療に強い病院

がん、脳卒中、心臓病への対応機能に優れた病院

保存版

# 頼れる病院

2014年版

&「目」の病気とアレルギー治療の最新事情



白内障治療と老眼矯正の革新的治療法

レーシックに騙されない

花粉症は、実は直せる？

アレルギー専門医の探し方

医療機能と経営状態で評価する

都道府県別  
全国1205施設

# 病院 ランキング

売り切れ続出の「週刊ダイヤモンド」医療特集を1冊にまとめた総集編！





本院の西の京病院では入院を要する患者の治療も可能



メディカルプラザ薬師西の京を含め、3つの施設で患者を受け入れる

こうした病院全体でのフォロワーも含め、原因疾患や年齢、住まい、透析方法など、同院ではあらゆる面で門戸を広げるように努めてきたという。人工透析においても、機械による血液

**設備、人員を充実させて幅広い患者を受け入れる**



本院の透析室。オンラインHDFなど、最新設備の導入にも努めているという

**【診療科目】** 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科(人工透析)、糖尿病内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、眼科、麻酔科(院長登志)、リウマチ科、血管外科、歯科、救急科

**【受付時間】** 8:30~12:00

**【休診日】** 日・祝

〒630-8041 奈良県奈良市六条町102-1  
TEL.0742-35-1121 FAX.0742-35-1160  
<http://www.nishinokyo.or.jp/>

**全身状態を考慮した人工透析を実践**

人工透析は低下した腎機能を代替するために導入される治療として知られている。ただ、そこへ至る原因として、糖尿病が大きな割合を占めることもあり、人工透析以外の総合的な対応もまた重要だ。奈良県奈良市に位置する西の京病院では、療養病床を持ち、他科とも密に連携できる病院内

で透析センターを設置。「全身状態のコントロールの1つとして人工透析を位置付け、全身疾患の改善・予防のための生活指導や、重篤な病気の診断も含めた治療を提供しています」とセンター長を務める吉岡伸夫副院長が語るように、全身を見据えた人工透析を25年以上にわたって提供してきた。

結果として、同院では高齢の患者や重症例の患者も数多く、ICUでは各種急性性浄化にも対応する。特に糖尿病患者は全身の血管に動脈硬化を抱えやすく、心臓の血管が狭窄する狭心症・心筋梗塞や、足の血管が閉塞して切断につながりかねない重症下肢虚血を起こすことさえある。透析患者総数360名(2014年2月現在)を超える中で2012年12月を最後に足の切断例をゼロに抑えているなど、重篤な疾患に適切に対応することが、患者の安心感にもつながるのだろう。

う腹膜透析(CAPD)の両方に対応。血液透析に比べて長期合併症を抑えられるオンラインHDFも導入している。人工透析およびCAPDを専門とする看護師や技士に加え、日本看護協会認定糖尿病看護認定看護師も在籍するなど、普段患者に接するスタッフの技術も高く、突然の血圧低下などの緊急時への対応から、丁寧な栄養指導やフットケアといった日常的な処置まで、幅広い面で高い水準の対応を心がけている。

同院では、「人工透析は医療であると共に生活の一部でもある」という考えで、質の高い透析に加え、美味しい食事の提供や、在宅支援のための送迎といったアメニティの充実など、高い患者満足度を目指してきた。「地域における最後の砦として、住民の方や他医療機関様からも信頼をいただいていると感じています」ということもあり、透析患者も年々増え続けているという。今後も同院は地域の透析医療を担い続けるだろう。

# 充実した治療体制を持つ病院で全身状態を見据えた人工透析を提供

高齢者や全身状態の悪い患者などに対しても適切な治療が可能

医療法人康仁会 西の京病院



副院長・透析センター長 吉岡伸夫

よしおかのぶお ●医学博士。1984年に奈良県立医科大学卒業。98年4月に西の京病院に入職し、内科医長、透析室長を経て2001年4月に西の京病院副院長、透析センター長に就任。04年よりメディカルプラザ薬師西の京透析センター長、11年10月より西大寺クリニック院長に就任。日本透析医学会認定透析専門医。奈良県医師会透析部会常任理事、奈良県医師会透析部会透析骨髄分科会監事、奈良県医師会透析部会PD分科会世話人など